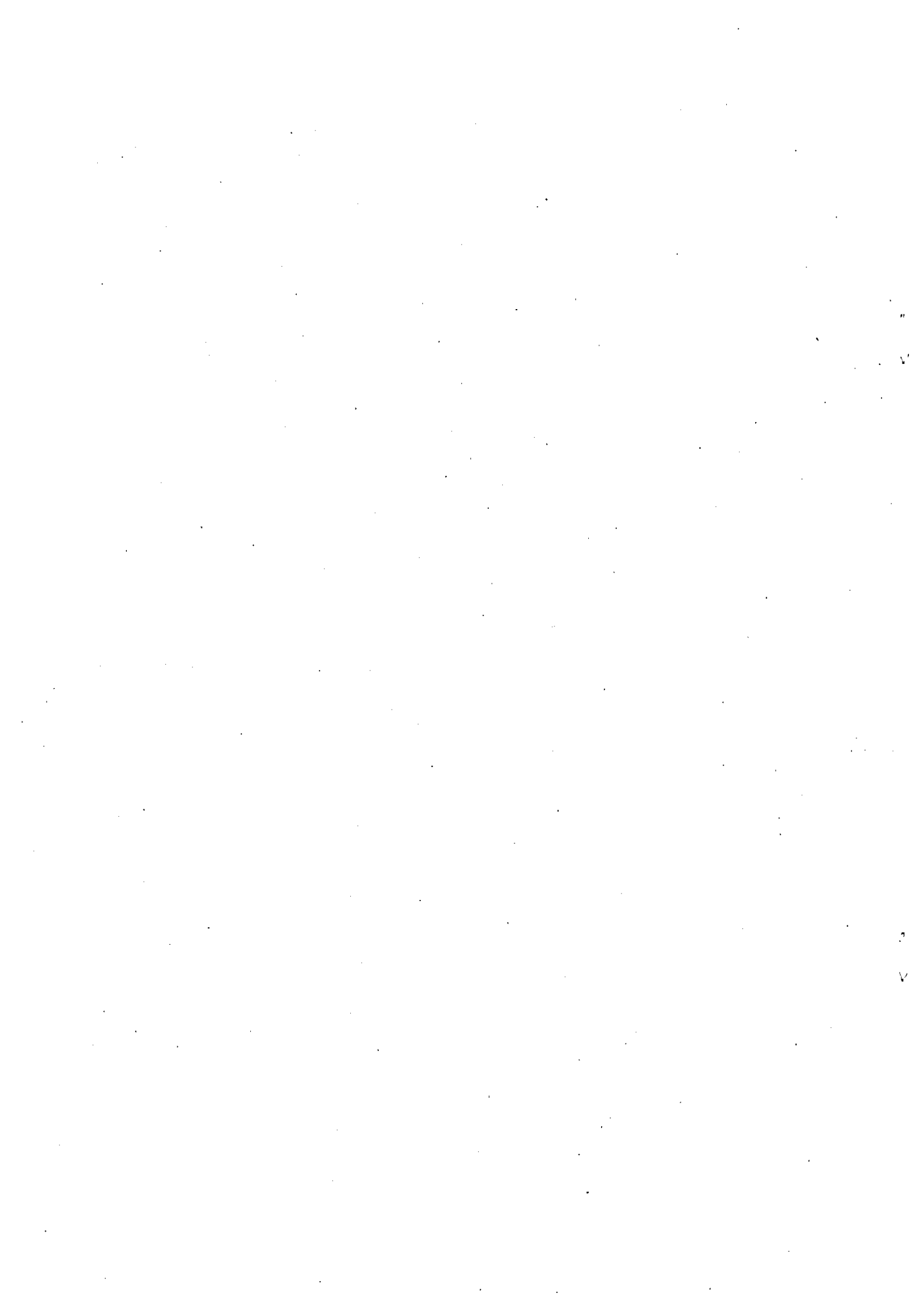


農林水産商工常任委員会提出資料

(平成29年5月19日)

項目	ページ
1 中海干拓県有農地の売渡・貸付の公募について 【農地・水保全課】	1
2 「とっとり共生の里」協定調印について 【農地・水保全課】	2
3 第11回全国和牛能力共進会（宮城大会）第一次選抜集合 審査会等の結果について 【畜産課】	3
4 「きのこ王国とっとり」食のみやこフェスティバルの開催に ついて 【県産材・林産振興課】	4
5 協同組合レングス製造CLTの国土交通大臣認定の取得に ついて 【県産材・林産振興課】	5
6 日南町の「林業成長産業化地域」選定について 【県産材・林産振興課】	6
7 辻調理師専門学校との連携協定の締結について 【食のみやこ推進課】	8
8 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】	9

農 林 水 産 部



中海干拓県有農地の売渡・貸付の公募について

平成29年5月19日
農地・水保全課

中海干拓県有農地について、平成27年度以降貸付を行った農地の貸付期間が平成30年3月31日に終了するため、売渡・貸付の公募を実施します。

1 公募する農地の概要

区分	所在地	面積（区画数）	標準区画
弓浜干拓地	境港市中海干拓地	17.2ha（57区画）	30a
彦名干拓地	米子市彦名新田	11.5ha（39区画）	30a

2 売渡・貸付の公募について

	売渡し	貸付け
申し込み期間	平成29年7月10日（月）～7月20日（木）	
売渡・貸付単位	1区画ごと	
売渡・貸付価格	実勢価格	弓浜工区：年間8千円/10a 彦名工区：年間5千円/10a
売渡・貸付方法	農業経営基盤強化促進法に定める農地売買等事業により公益財団法人鳥取県農業農村担い手育成機構が仲介し売渡します。	農業経営基盤強化促進法に定める利用権設定等促進事業により県が直接貸付けます。
広報関係	6月上旬から広報を実施します。 ・ホームページ（県農地・水保全課、機構、米子・境港両市） ・広報誌（県政だより、米子・境港両市報、JA鳥取西部機関誌） ・PR看板の設置 ・PRチラシの配布等	

<参考> 売渡・貸付等の状況（平成29年5月1日現在）

項目	弓 浜		彦 名		合 計	
	面積 (ha)	率	面積 (ha)	率	面積 (ha)	率
全 体	112.1	100.0%	109.8	100.0%	221.9	100.0%
売渡済	94.9	84.7%	98.3	89.5%	193.2	87.1%
未売地	17.2	15.3%	11.5	10.5%	28.7	12.9%
貸 付	17.2	15.3%	9.2	8.4%	26.4	11.9%
未貸付	0.0	0.0%	2.3	2.1%	2.3	1.0%

※県有地となった平成24年度以降、3.9ha（13区画）（弓浜工区：1.2ha（4区画）・彦名工区：2.7ha（9区画））を売却しています。（売却予定を含む。）

「とっとり共生の里」協定調印について

平成29年5月19日
農地・水保全課

中山間地域の農村集落と企業が連携し、農地や農業用水路など地域資源の保全活動を行いながら、農産物の生産や加工品づくりなどにも取り組み、農業・農村の活性化につなげる「とっとり共生の里」について、以下のとおり協定の調印を行いました。

1 協定調印式の概要

- (1) 日時 平成29年5月12日(金) 午後1時30分から
(2) 場所 日南町役場 防災会議室(日南町霞800)
(3) 内容 ①概要説明 ②協定書署名 ③記念撮影 ④記者会見
(4) 出席者

地区名	集落	企業	鳥取県	日南町
みやた 宮田 地区	日南町宮田集落 班長 あしわ さとる 足羽 覚	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 山陰支店長 やまべり たけし 山端 豪	鳥取県副知事 はやし あきお 林 昭男	日南町長 ますはら さとし 増原 聡

2 協定の概要

- (1) 協定期間 平成29年5月12日～平成34年3月31日(5年間)
(2) 活動内容(案)

集落と企業が、以下の活動を協働で実施します。

- ① 農地や農業用水路等の保管理(草刈、鳥獣害防止柵設置等)
- ② 遊休農地の再生(草刈、耕耘、農地周辺の竹林整備等)
- ③ 農産物、農産加工品の研究・販売促進
- ④ 地域資源を活かした交流(山菜取り体験、雪上イベント開催等)

(参考) 共生の里の取組状況

地区名	市町村名	協定締結日	協定者
とっとり共生の里(7地区)			
船岡地区	八頭町	H28.3.12	鳥取県生活協同組合ほか10団体
五月田地区	智頭町	H27.3.20	五月田集落 及び 鳥取銀行
余戸地区	鳥取市佐治町	H27.3.20	余戸集落 及び 旺方トレーディング
小船地区	若桜町	H27.3.20	小船集落 及び 因幡地区郵便局長会
菅福地区	日野町	H27.8.8	菅福地区連合自治会 及び 伯耆地区郵便局長会
御机地区	江府町	H28.7.2	御机集落 及び サントリーホールディングス
東小鹿地区	三朝町	H29.3.18	東小鹿集落 及び 東京海上日動火災保険
むら・まち支え合い共生の里(5地区)			
屋住地区	鳥取市用瀬町	H27.5.18	屋住集落 及び 鳥取市醇風地区公民館
河本地区	鳥取市佐治町	H27.5.18	河本集落 及び 鳥取市富桑地区公民館
福園地区	鳥取市佐治町	H28.3.25	福園集落 及び 鳥取市城北地区まちづくり協議会
日光地区	伯耆町	H28.5.28	日光地区協議会 及び 米子市義方校区自治連合会
あいみ富有の里地区	南部町	H28.7.24	あいみ富有の里地域振興協議会 及び 米子市就将地区自治連合会

第11回全国和牛能力共進会（宮城大会）第一次選抜集合審査会等の結果について

平成29年5月19日
畜産課

今秋開催されるこの大会では、改良の成果を雄牛・雌牛の体型の良さで審査する「種牛区」と、枝肉の状態が霜降りの入り具合などの肉質を審査する「肉牛区」に全国から合わせて約500頭が出品されます。

この大会に向けて、本県からの出品牛を選抜するため、出品候補牛の一回目の選抜が行われました。

1 各区の選抜状況等

(1) 種牛区

4月21日（金）に鳥取中央家畜市場にて第一次選抜集合審査会が開催され、発育やバランスの良い牛について、55頭の出品候補牛の中から50頭が選抜されました。

(2) 肉牛区

4月17日（月）に畜産試験場にて第1回選畜委員会が開催され、超音波肉質診断結果、体測結果（体重や体高など）、血液検査結果に基づき、58頭の出品候補牛のうち53頭が選抜されました。

(3) 出品各区の概要

出品区		県出品頭数	交配種雄牛	出品に向けた取組
種別	群別			
種牛区	第1区 (若雄)	1頭	「高森」	★鳥取らしい「気高」の血が濃い牛で出品。○畜産試験場が出品
	第2区 (若雌の1)	1頭	指定なし	★体系的に期待できる「白鷗85の3」を、時期を定めて一斉交配(H27.3~H27.9)を実施。 ○21頭の出品のうち16頭を選抜
	第3区 (若雌の2)	1頭	指定なし	
	第4区 (系統雌牛群)	1群4頭	「しば」系	★「しば系」の系統雌牛保留を進めている鳥取県和牛育種組合鳥取西部支部が出品 ○5頭1群を確認
	第5区 (繁殖雌牛群)	1群4頭	—	★体型得点の高い出品候補牛をリストアップし、「群の斉一性」を考えたセットを選定。 ○10頭2群を確認
	第6区 (高等登録群)	1群3頭 (母、娘、孫)	—	★出品条件を満たすセットをリストアップし、巡回調査を通して、候補牛セットを選定。 ○6頭2群を確認(西部地区で2セット)
	第7区 (総合評価群)	種牛区 1群4頭	「白鷗85の3」	★県内で体型得点の高い雌牛から性別別精液(雌)を活用して出品候補牛を生産。 ★さらに選抜圧を高めるため、時期を指定して県内一斉交配(HH27.3~4)を実施。 ○13頭2群から12頭2群を選抜(中部地区と西部地区)
第7区 (総合評価群)	肉牛区 (去勢3頭)			
肉牛区	第8区 (若雄後代検定牛群)	去勢3頭	「平白鷗」 「礼美茂」	★全国トップクラスの種雄牛の性別別精液(雌)を活用し、産肉能力が高い雌牛(県トップ50)から受精卵を確保して出品候補牛を生産。 ★出品候補者も早期に選定し、候補牛生産から肥育までスムーズな取組を実施 ・出品候補者10名 ○58頭から53頭を選抜(出品は8頭)
	第9区 (去勢肥育牛)	去勢2頭	「百合白清2」 「福増」	

2 今後の予定

6月28日（水）開催予定の種牛区の最終予選会及び7月下旬開催予定の肉牛区の第2回選畜委員会で代表牛（種牛区18頭、肉牛区8頭）が決定されます。

「きのこ王国とっとり」食のみやこフェスティバルの開催について

平成 29 年 5 月 19 日
県産材・林産振興課

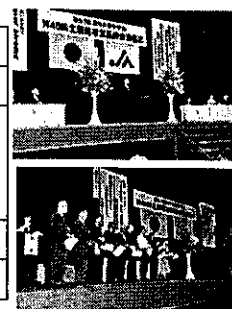
平成 24 年以来 5 年ぶりに鳥取県で開催される第 50 回全農乾椎茸品評会にあわせて、県産原木しいたけをはじめとする地域特産物の消費拡大、伝統的食文化や地場産業の振興と情報発信を図るイベント「きのこ王国とっとり」食のみやこフェスティバルを開催します。

1 開催概要

- (1) 日時 平成 29 年 6 月 17 日(土) 午前 10 時から午後 3 時 30 分まで
- (2) 場所 コカ・コーラウエストスポーツパーク内 県民体育館及び周辺屋外(鳥取市布勢)
- (3) 主催 「きのこ王国とっとり」食のみやこフェスティバル実行委員会
(実行委員会の主な構成団体：(一財)日本きのこセンター、鳥取県椎茸生産組合連合会、全国農業協同組合連合会鳥取県本部、鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター、鳥取県生活協同組合、鳥取市学校給食会、鳥取県森林組合連合会、鳥取市、鳥取県など 13 団体)
- (4) 内容
会場を 4 つの企画に分けて、きのこや食に関する情報発信を実施
 - 学ぶゾーン
全農乾椎茸品評会優良品の展示、しいたけもぎ取り、木工、木育体験ブースを設置
 - 食べるゾーン
きのこ類や県産食材のバザー、ジャンボ巻き寿司づくり等の食に関するブースを設置
 - 地域おこしゾーン
県下各市町村の地域おこし協力隊の活動状況パネル展示、起業相談ブースを設置等
 - 県産食材を活用したキッチンスタジオ
有名イタリアンシェフによるきのこや県産食材を活用した料理教室の開催
- (5) 集客目標 10,000 人

2 関連行事スケジュール

日程	主な内容
6 月 14 日(水)	第 50 回全農乾椎茸品評会生産者交流会
6 月 15 日(木)	第 50 回全農乾椎茸品評会 展示 9 時～14 時 表彰式 10 時～12 時 30 分
6 月 16 日(金)	イベント準備
6 月 17 日(土)	「きのこ王国とっとり」食のみやこフェスティバル



《参考》第 50 回全農乾椎茸品評会の開催概要

(1) 目的

国産原木乾椎茸の生産拡大と生産農林家の経営安定を目的に、意欲の高揚と技術の研鑽、系統共販の拡大を図る。

(2) 主催、協賛、後援

主催：全国農業協同組合連合会 特別協賛：鳥取県 協賛：一般財団法人日本きのこセンター、全農全和会（取引会員団体） 後援：林野庁

(3) 開催日時・場所

審査会 6 月 8 日(木) 埼玉県久喜市 全農椎茸事業所
入札会 6 月 20 日(火) 同上
表彰式・展示会 6 月 15 日(木) 鳥取市布勢 県民体育館

※前回鳥取県で開催された第 45 回全農乾椎茸品評会及び関連行事の状況（平成 24 年度）



協同組合レングス製造CLTの国土交通大臣認定の取得について

平成29年5月19日

県産材・林産振興課

平成29年4月21日付けで、協同組合レングス（西伯郡南部町）が製造したCLT（Jパネル）が、壁倍率の国土交通大臣認定を取得しました。

これにより、建築基準法に基づく耐力壁として認定されたこととなり、公共建築物や大手ハウスメーカーが建築する住宅などの需要拡大が期待されます。

※CLT（Cross Laminated Timber の略）

：ひき板（ラミナ）を繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料。

※壁倍率：建築基準法で定められた耐力壁の強度をあらわす数値であり、この値が高いほど、性能が高く、大きな水平荷重に耐えることができる。

※耐力壁（たいりょくかべ）：建物が地震力や風圧力などの水平力に耐えるために必要な、構造力学上重要な役割を担う壁。

1 認定内容 大壁工法の耐力壁としてCLT（Jパネル）を使用すること。

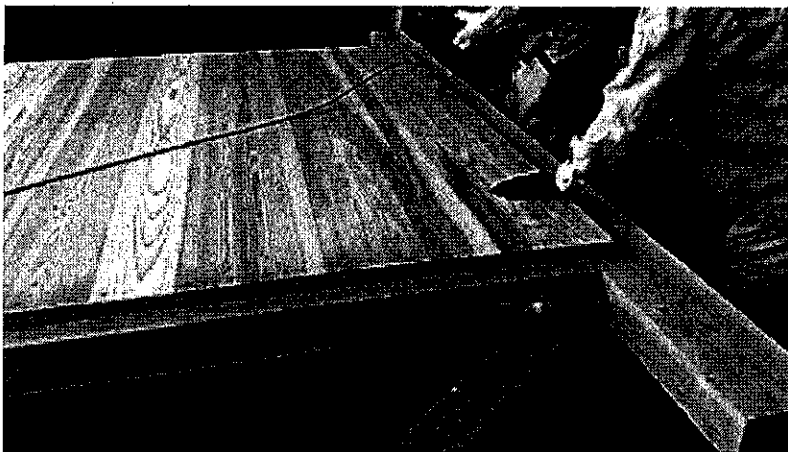
※大壁工法：構造材（柱や梁など）の表面に壁材を貼り付けるため、構造材が壁内部に隠れて表面に現れない工法であり、洋風住宅に採用されている。

2 壁倍率 3. 3倍（参考：構造用合板を使用した耐力壁 2. 5倍）

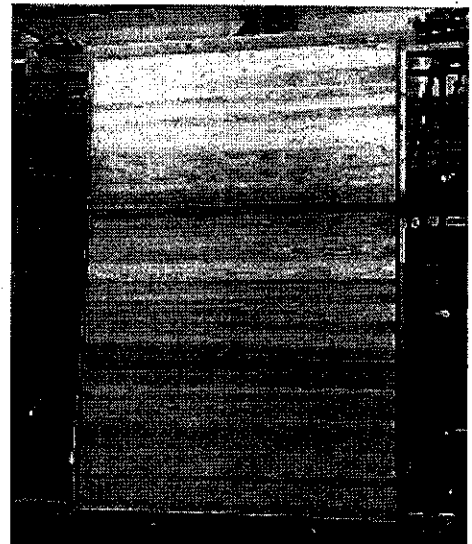
3 CLT耐力壁の特徴

- ・CLT（Jパネル）自体に化粧性があり、表面にクロス等を貼ることなく、そのままの状態で使用可能。

【試験体の製造状況】柱の表面にCLT（Jパネル）を固定



【耐力壁の試験体】



4 県の対応

今年度、林業試験場に整備する「屋内試験棟」（木造平屋、延床面積：9.6㎡）の耐力壁としてCLT（Jパネル）を採用する他、協同組合レングスと県内の設計・建築関係者との意見交換会を開催するなど、県内における普及促進に協力する。

日南町の「林業成長産業化地域」選定について

平成29年5月19日
県産材・林産振興課

平成29年度事業として、林野庁が公募した「林業成長産業化地域創出モデル事業」の実施地域（林業成長産業化地域）に、日南町が選定されました。（応募:45地域、選定:16地域）県としては、円滑な事業実施に協力し、成長産業化実現を支援することとしています。

1 林業成長産業化地域創出モデル事業について

(1) 概要

地域の森林資源の循環利用を進め、林業の成長産業化に取り組む地域を林業成長産業化地域に選定し、当該地域において、市町村をはじめとする地域の林業・木材産業関係者等が連携して実施する様々な取組に対して、最長5年間にわたって重点的に支援を行うもの。

(2) 事業実施主体 市町村、森林組合、木材関連業者等

(3) 事業実施期間 平成29年度～33年度

(4) 国の平成29年度予算額 1,009百万円

(5) 事業メニュー及び国補助率

〔ソフト事業〕 地域で定めた目標の達成に必要な地域提案事業（補助率：定額1千万円）

〔ハード事業〕 路網整備、高性能林業機械整備、森林環境教育活動施設整備、木材加工流通施設整備、木造公共建築物等整備、木質バイオマス利用促進施設整備
（補助率：1/2、1/3、4/10等）

2 林業成長産業化地域の選定について

(1) 募集期間 平成29年1月20日～2月28日

(2) 応募地域数 45地域

(3) 選定地域数 16地域（秋田県大館北秋田地域、新潟県中越地域、山口県長門地域、大分県日田市地域、宮崎県延岡・日向地域等）

(4) 選定方法 外部有識者を交えた検討委員会により選定

(5) 選定結果の発表 平成29年4月28日

3 日南町の構想【循環型林業モデル構想】について

(1) 構想の方向性

- ・森林資源を効率的に活用する「カスケード計画」を軸にし、循環型林業の再構築を行う。
- ・林業の町にふさわしい、子育て支援・人材育成を行うことで、将来における林業業界の担い手を確保していくことを目指す。

(2) 主な取組内容 ※具体的な内容は、今後検討されます。

○「使いきる」木材活用事業

- ・不在村地主等所有山林の集約化
- ・ICT技術を活用した森林資源情報のデジタル化
- ・新商品、新技術の開発（LVL材の不燃処理、パークのバイオマス燃料化等）

○日南町版林業担い手育成事業

- ・林業、木材産業の即戦力となる人材を育成する、林業アカデミーの開設
- ・将来の林業、木材産業の担い手を養成するための「木育」活動の実施

(3) 参画者

日南町、日南町森林組合、日南町木材事業協同組合、(株)オロチ、山陰丸和林業(株)、(株)ウッドカンパニーニチナン、大建工業(株)、(株)物林、鳥取大学、鳥取県等

4 県の対応

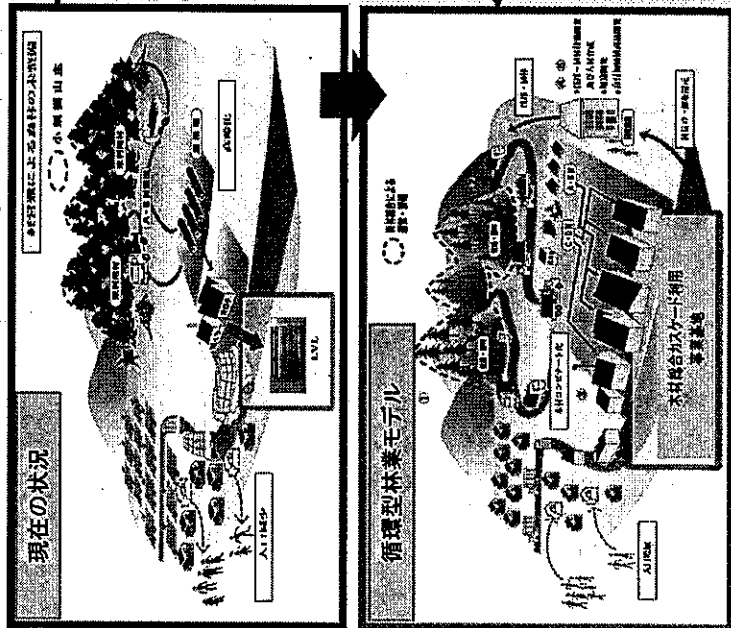
構想の実現に向けた検討に参画し、具体的な取組内容や取組方法などの助言、協力を行いながら、地域林業の成長産業化を支援する。

1. 事業全体の概要(施策の方向性)

- I. 森林資源を無駄なくかつ効率的に活用する「カスケード計画」を軸にし、循環型林業の再構築を行うことで林業の成長産業化を目指す。
- II. 林業の成長産業化に伴い、新たな雇用を創出することで人口増加を目指すと同時に、町内の地域経済循環率向上を目指す。
- III. 林業の町にふさわしい、子育て支援・人材育成を行うことで、将来における林業界の担い手を確保していくことを目指す。

2. 地域の実態

- 林齢構成の不均衡
→ 8歳から11歳が約60%を占めており皆伐再造林による林齢平坦化が必要。
- 民間林の不在(村地主問題)
→ 集約実施を行う上で大きな妨げになっており、施策同意が取れず集約実施ができな
い状況が生じている。
- 林業界における恒常的な人手不足
→ 今後の大手企業進出に伴い、多くの木材搬出が予想される中、人材不足のため新た
なビジネスモデルの実施が困難な状況が予想される。



4. 地域の関係者で実現する将来像

- 行政・関係企業が一体となって、循環型林業の再構築を行うことで林業を「稼げる職業」「魅力ある仕事」に仕立て上げ、多くの人を呼び込み、経済波及効果をもたらし、過疎からの脱却を目指す。
- 県域を超えた取組とすることで、単一町村では困難なFSC認証材の取組拡大を進めていき、他の国産材との競争力を向上していく。

鳥取県日南町・中央中国山地地域 循環型林業モデル構想

日南町

3. 重点プロジェクトの概要

1 使いきり木材活用事業

① 不在村地主等山林集約化事業

不在村地主問題の解消に向け、森林組合と連携を図りながら、企業への売買前払等集約化を図り、適切な森林管理を行うとともに、集約化施策を推進することで、未整備林をなくし、安定・持続的な事業継続を目指す。

② ICT技術を活用した中央中国山地地域モデル循環型林業の確立事業

新空レーザー計測、山林3DスキヤンなどのICT技術を活用し、正確な立木の情報を把握することで、森林資源量を正確に把握し、循環型林業を行う上での基礎データを把握し、今後実施する事業展開に備えることを目的とする。

③ FSC材・FSC製品流通拡大事業

県境を跨いだ近隣市町村・企業と連携を図りながら、FSC認証材の流通量を増やすことで、林業界の収益増加を目指す。また、既製品品についてもグローバルスタンダードとなつていくFSC認証材を使用することにより、より競争力の高い製品として市場に打って出ることを目指す。

④ 森林カスケード新素材リサイクル開発事業

木を「使いきる」という点において、これまで産業廃棄物として処理していたパルプを用いたバイオマス燃料への活用や、大建工業㈱と連携したDWファイバー製造技術を用いた新商品開発を行うことで、無駄なく最後まで資源を使用し、地域経済へ還元し、及んでいくことを目指す。

⑤ 木材公共施設整備事業

町内に過半数のコミュニティセンターの建設、及びバイオマス熱変換を活用した木質農業用ハウスの建設にあたり、町産材100%FSC認証LVL材を活用することで、地域経済循環率を高めていくことを目指す。

2 日南町版林業担い手育成事業

⑥ 林業カスケード整備事業

今後町が実施する地域循環型林業モデルの各種事業実施にあたり、人材確保は必須である。とりわけ高性能林業機械の活用、それに伴う特別教育の資格取得は必須であり、大建工業㈱を始めとする加工業者が求める即戦力の育成も関連企業・大学等専門機関とタイアップしながら、中央中国山地地域の求める人材を育成していく。

⑦ 200年の森の木育産物事業

林業の町ならではの教育を行うことを目的に、「木育」を積極的にすすめていく。具体的には樹齢200年のスキヤン材の一部をファイナードとしたカリキュラムを大学と連携し構築。子供から大人まで木の魅力を伝える場を創出。とりわけ子供には木や森林をそれに関わる仕事の大切さという点について重点的に教育していくことで「林業が魅力ある仕事」と理解してもらえらる事を目指して行く。

辻調理師専門学校との連携協定の締結について

平成29年5月19日

食のみやこ推進課

豊かな自然に恵まれた鳥取県産食材の活用をはじめ「食のみやこ鳥取県」等を推進するため、日本最大の食の総合教育機関である辻調理師専門学校と連携協定を締結しました。

これからの日本の食が目指すべき方向性として同校が作成した「ガストロノミーmanifesto」を踏まえ、持続可能な食産業の創出、地域と食材の結びつき強化等に連携して取り組みます。

1 鳥取県と辻調理師専門学校との連携協定調印式について

- (1) 日 時 平成29年5月12日(金) 12時30分～13時
- (2) 場 所 ベクトルラウンジ(東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ18F)
- (3) 出席者
鳥取県知事 平井 伸治
辻調理師専門学校 校長 辻 芳樹(つじ よしき)氏

※同日、鳥取県との協定締結式に先立ち、辻調理師専門学校による「食の教育研究プロジェクト」の発表が実施されました。(鳥取県からの同席者:食のみやこ推進課長 塗師木 太一)

2 鳥取県と辻調理師専門学校との連携内容について

豊かな自然に恵まれた鳥取県産食材の活用をはじめ「食のみやこ鳥取県」を推進し、美食の産業を創出するとともに、地方へのUターン・Iターンのモデルを構築するため、以下について連携した取組を進めます。

- (1) 豊かな自然に恵まれた鳥取県産食材の活用をはじめ「食のみやこ鳥取県」を推進するとともに、持続可能な開発目標(SDGs)及び辻調理師専門学校が作成した「日本版ガストロノミーmanifesto」を踏襲して、美食の産業創出のモデルを構築すること。

〔取組例〕ジビエ活用に係るストーリーの作成、県内高等教育機関と連携した持続可能な美食等に係る共同研究、料理人への県産食材の普及の推進、県産食材を活用した料理講習会の開催等

- (2) 鳥取県出身の辻調理師専門学校卒業生のネットワークを構築し、同校卒業生の地方へのUターン・Iターンのモデルを構築すること。また、構築したネットワーク上で、鳥取県産食材の情報を積極的に共有し、鳥取県出身者と鳥取県産食材の結びつきを強めること。

〔取組例〕鳥取県出身の辻調在校生等を対象にした県産食材を活用した課外授業、鳥取県内での辻調卒業生ネットワークの構築、辻調卒業生が経営する県外レストランでの県産食材の活用等

〈参 考〉

○日本版「ガストロノミーmanifesto」について

・辻調理師専門学校が、内閣府の「クールジャパン拠点連携実証プロジェクト」の採択を受け、平成29年3月に「ガストロノミーmanifesto」を作成。「自然および生命活動の循環の中で食べる日本的な自然共生型フードシステム」「多様な風土とそこで得られる食材が生んだ、地域ごとの多様な料理や食文化」など、これからの日本の食が目指すべき方向性をまとめたもの。

※「ガストロノミー」(古代ギリシャ語に由来)は、「美食学」「美食術」などと訳され、「いかに食材を選択し、料理し、給仕し、美味しい食を楽しむかの術」を指す。近年では、環境への配慮や持続可能な生産方法に至るまで、広義に捉えられている。

※ガストロノミーmanifestoに基づく「食の教育研究プロジェクト」では、鳥取県のほか、鶴岡市(山形県)、志摩市(三重県)とも連携協定を締結。

○辻調理師専門学校(辻調グループ)について

・1960年(昭和35年)創立。大阪・東京・フランスに、調理師やパティシエを育成する専門学校など計7校を展開する日本最大の食の総合教育機関。「料理界の東大」「世界三大料理学校」とも呼ばれ、これまで約14万人の卒業生を輩出。本県出身で西洋料理教授の若林知人(わかばやしともひと)氏をはじめ、多くの教員がテレビ番組に出演。

・鳥取県内では、平成28年11月13日に若桜町と、Uターン・Iターン、食による地域活性化、人材育成等に係る連携協定を締結済。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成29年5月19日
農地・水保全課

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日 (当初契約年月日)	摘要
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	天神野池地区地域ため池(池ノ谷ため池)改修工事	高吉市 隣河内	福井土建株式会社 代表取締役 福井 重秋	(当初契約額) 103,248,000円 (第1回変更後契約額) 101,132,280円 (変更額) 〔 Δ2,115,720円〕	平成28年9月23日 ～ 平成29年5月8日 (変更後工期) 平成29年7月21日	平成28年9月23日 (第1回変更契約年月日) 平成29年3月2日 (第2回変更契約年月日) 平成29年4月27日	ため池整備 堤林工 付帯工 仮設工 ○変更内容 ・堤内仮設道を撤去した土砂の含水比が高く、現状では建設発生土処分場への搬出要入が困難なため、一時仮置して含水比を下げる期間を要することによる工期延期。

